

第3学年 外国語活動学習指導案

場 所 3年2組教室

児 童 男15名 女 12名 計27名

指導者 田 畑 柚 月

1 単元名

Let's Try! 1 Unit4 I like blue. (すきなものをつたえよう)

2 児童について

3年生の学習では、「Let's Try! 1」を活用し、Unit1「あいさつをして友だちになろう」、Unit2「ごきげんいかが?」、Unit3「数えてあそぼう」の単元を通して、チャンツやゲーム、友達とのコミュニケーションをしながら、英語での尋ね方や答え方に慣れ親しんできた。「数えてあそぼう」では、自分の持ち物を使って何度も友達と数を通してコミュニケーションを図ったことにより、友達が頑張って伝えたことを受け止めようとする雰囲気が出来つつある。これらの活動で自信を持って活動する児童がいる一方、自分から進んでいろいろな人とコミュニケーションを図ろうとする児童は多いとは言えない。

そこで、本単元での好みを伝え合う活動を通して、友達の新たな一面や自分との共通点を知り、いろいろな友達とコミュニケーションを図る楽しさを感じられるようにしていく必要がある。また、尋ね方や答え方などの基本的な表現に繰り返し触れる機会を増やすことで、慣れ親しむことができるようにし、友達と安心してコミュニケーションを図ろうとする素地を養うことができると考える。

3 単元の指導構想

(1) 単元について

本単元は、新学習指導要領の第3学年及び第4学年の目標(1)「外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。」、(2)「身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。」に基づいている。

本単元のねらいは、好みについての多様な考え方があることに気付き、好みについての表現を使いながら工夫して相手に聞いたり、反応を返したり、言うことができるようにすることである。このねらいの達成のために、ジェスチャーをつけながら相手に伝える活動を繰り返し設定している。

本単元は、「I like ~.」「Do you like ~?」「Yes, I do./No, I don't.」等の英語表現を使い、友達の好きなものを尋ねたり自分の好きなものを伝えたりして、好みを伝え合う活動を行う。普段の生活の中で、スポーツや食べ物などの様々なことに関して自分の好き嫌いを伝え合う場面は多く、児童にとっては身近で関心のある内容であると言える。

(2) 指導にあたって

児童の深い学びの姿を次のように捉え、その実現に向けて、以下のような手立てをとる。

<育てたい資質・能力>

- ・ 好みについての多様な考え方があることや、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付き、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 【知・技】
- ・ 好みについての簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら自分の好みを伝え合うことができる。 【思・判・表】
- ・ 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを伝え合おうとしている。 【態】

<深い学びの姿>

- ・ 好みについての多様な考え方があることに気付き、好みについての英語表現を用いて、相手に伝わるように繰り返したりジェスチャーを使ったりするなど、工夫しながら伝えようとする姿

視点1 深い学びを実現する単元構成

- 友達と進んでコミュニケーションを図り、楽しさや良さを感じられるように、既習の表現を用いてやり取りをする場を単位時間に位置付ける。
- 単元を通して自分の好みを伝え合う力がついたことを自覚し、自己有用感をもてるように、単位時間や単元の終末に自分の学びを振り返る場を設定する。

視点2 問題解決的な学習展開の充実

(1) 主体的な学びを促す手立て

- ・ 好みを伝え合う活動が児童にとって必然性のあるものになるように、友達知らない一面(好み)について知り、さらに仲良くなろうという単元のゴールを導入で示す。(主①)
- ・ 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、身に付けることができるように、言語活動につながる活動(チャンツや歌、ゲームなど)を位置付ける。(主②)
- ・ 児童の活動やコミュニケーションの様子を見取り、価値付ける声掛けを行うことで、児童が自信をもって活動できるようにする。(主③)

(2) 対話的な学びを促す手立て

- ・ 一人ひとりが好みを伝え合う表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図ることができるように、集団やグループ、個人など形態を変えながら話す場を多くつくる。(対①)
- ・ 単元を貫く言語活動のモデル(伝え返しの反応等)を単元の導入で示し、実践した児童を褒めながら全体に広めていく。(対②)

(3) 言語材料

表現	I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I don't like (blue).
語彙	like, do, not, don't, too, 色 (red, blue, green, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown), スポーツ (soccer, baseball, basketball, dodgeball, swimming), 飲食物 (ice cream, pudding, milk, orange juice), 果物・野菜 (onion, green pepper, cucumber, carrot), rainbow

4 単元の指導計画

(1) 目標

- ・ 好みについての多様な考え方があることや、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付き、色の言い方や好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。【知・技】
- ・ 好みについての簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら自分の好みを伝え合うことができる。【思・判・表】
- ・ 相手に伝わるように工夫しながら誰とでもコミュニケーションを図ろうとしている。【態】

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 好みについての多様な考え方があることや、英語の音声やリズムなどに慣れ親しんでいる。	① 好みについての簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら自分の好みを伝え合っている。	① 好みを伝え合う活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
② 好みについての尋ね方や答え方の表現に慣れ親しんでいる。 I like ~. Do you like ~? Yes, I do. /No, I don't. I don't like ~. Me, too.		② 相手に伝わるように話す工夫や聞き方に気を付けている。

(3) 指導計画 (4 時間)

時数	主な学習活動	評価規準【観点→評価方法】
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 友達の好みについて知りもっと仲良くなろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 虹に色を塗る活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 虹の色から好みは人それぞれで、多様な考え方があることを知り、友達の好みについても意外に知っているようで知らないことから、友達の好みをたくさん知り伝え合う単元の活動の見直しを持つ。 ○ 英語の色の言い方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 色を表す語に出会い、ポインティングゲームなどを通して表現に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好みについての多様な考え方があることに気付き、英語の音声やリズムなどに慣れ親しんでいる。【知①→発言, 振り返りカード】
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導者自身の好きなものとそうでもないものについて話す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ “I like ~”, “I don't like ~” の表現と意味を知る。 ○好きなものとそうでもないものをヒントとして聞かせ、校内の先生の誰かを当てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好みについての答え方の表現に慣れ親しんでいる。【知②→観察, 振り返りカード, 発言】 ・ 相手に伝わるように話す工夫や聞き方に気を付けている。【態②→観察】
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ チャンツで “I like ~” の表現を確かめる。 ○ 好みを聞く “Do you like ~?” の表現を覚える。 ○ Yes, No コーナーゲームを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ “Do you like ~?”, “Yes, I do. / No, I don't. ” の表現に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好みについての尋ね方や答え方の表現に慣れ親しんでいる。【知②→観察, 発言】 ・ 好みを伝え合う活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。【態①→観察】
4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手に好みを聞くために “Do you like ~?” の表現に慣れ親しむ。 ○ インタビューゲームを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・好きなものを尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好みについての簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、自分の好みを伝え合っている。【思①→観察, 振り返りカード】

5 本時の指導計画

(1) 目標

- ・ 好みについての簡単な語句や基本的な表現を使って、自分の好みを友達と伝え合うことができる。

【思・判・表】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に伝わるようにジェスチャーを用いて自分の好みを話し、聞くときには反応を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板に表現の仕方を提示し、いつでも見られるようにしておく。

(3) 展開

(主) 主体的な学びを促す手立て・(対) 対話的な学びを促す手立て

段階	主な学習活動・学習内容	教師の支援 (◇評価)	資料等
導入 (15分)	1 【Warming up】 ① あいさつをする。 ② Unit2 “Hello Song” を歌う。 ③ チャンツ “I like blue.” をする。 2 【Today’s Goal】 ・ インタビューゲームの流れを聞く。 A : Hi! How are you? B : I’m fine. A : I like blue. Do you like blue? B : Yes, I do. A : Oh! Me, too! See you. B : Bye. <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> インタビューゲームで好きなものが同じ友達を探そう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 笑顔で気楽に話せる雰囲気づくりをするために慣れ親しんだ表現で楽しくコミュニケーションを図る。 ・ 歌やチャンツを何度か繰り返したり、ジェスチャーをつけたりしながら行い、本時の英語表現やリズムに慣れ親しむことができるようにする。 ・ 前時での “I like～.” の活動から、自分の好みと一緒にいる仲間を探すという流れでゴールの見通しを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板 ・ 絵カード
展開 (20分)	3 【Activity】 ① 教師と児童でやり取りをする。 ② 隣の人や前後の人とペアになり、インタビューゲームを行う。 ③ 教室を歩き回り、たくさんの友達とインタビューゲームを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体からグループでと段階を踏んで活動を行うことで、抵抗感なく誰でも話せる雰囲気でのコミュニケーションを図りやすくする。(対) ・ 児童の活動やコミュニケーションの様子を見取り、価値付ける声掛けを行うことで、児童が自信をもって活動できるようにする。(主) <p>◇ 好みについての簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、好みを伝え合っている。 【思①→観察, 振り返りシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート
まとめ (10分)	4 【Reflection】 ・ 振り返りカードに、伝え合う楽しさや気づき、友達のよいところを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りの視点を示すことで、コミュニケーションの楽しさに目を向けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカード